

普及活動情勢報告（令和 6 年 8 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

R 7 園芸年度作に向けて！ ～南国シシトウ栽培講習会～



栽培講習会の様子

7月18日、J A高知県土長地区本部で南国シシトウ部会の栽培講習会が開催され、生産者14名が参加しました。

会では、①R 6 園芸年度作の振り返りとR 7 園芸年度作に向けた栽培初期の注意点、②非辛みシシトウの現地試験結果と農業技術センターで育成中の後継品種、③黒枯病の発生メカニズムと防除、等について各機関から情報提供を行いました。

農業改良普及課は、非辛みシシトウの管内での評価も報告し、生産者から「苦勞する面もあるが良い品種特性が多く、来作も栽培する」といった前向きな意見が聞かれました。

今後も、非辛みシシトウの安定生産に向けて関係機関と連携し、栽培技術の確立に取り組めます。

シシトウ栽培の基礎を確認！ ～香美地区促成シシトウ栽培講習会～



非辛みシシトウの
試験結果を報告

7月24日に香美地区シシトウ部会栽培講習会が開催され、生産者6名が参加しました。

J Aからは令和6園芸年度の栽培及び販売状況と、気象及び発生した病害虫について説明があり、農業改良普及課は、非辛みシシトウの温度管理に関する現地試験結果について、実証農家のコメントと合わせて情報提供しました。

生産者からは、「非辛みシシトウを『ししまろ』として、県内で販売している事例はあるか」といった質問があり、非辛みシシトウの販売に対する関心が高いことが窺えました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携しながら、生産者の栽培管理技術の向上を支援するとともに、非辛みシシトウの普及に取り組めます。

新たに高知県農村女性リーダー、青年農業士が認定されました



知事から認定証を
授与される青年農業士

8月5日、高知城ホールで令和6年度農村女性リーダー及び青年農業士の認定証授与式が開催され、中央東ブロックからは農村女性リーダーに2名、青年農業士に4名が新たに認定されました。

農業改良普及課は、地域の農村女性リーダーと青年農業士から推薦を受けた候補者の選定や申請書の作成を支援しました。

新農村女性リーダー及び青年農業士からは、「申請書の作成が経営の現状を確認し、今後の活動方針を考える機会となった」、「青年農業士に認定された後は、若手農家と交流を持ち、自身の経営発展につなげて行きたい」と意気込む声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も中央東ブロックの農村女性リーダー及び青年農業士が地域の中核農家となるために、県外への産地PR活動や研修会の開催を支援していきます。

土壌の状態わかつちゅう？ ～やっこねぎ部会土壌分析～



土壌を採取する新採職員

8月5日、6日にJA高知県香美地区やっこねぎ部会12名のほ場から土壌を採取し、簡易分析を実施するとともに詳細分析のための準備を行いました。

農業改良普及課は、やっこねぎの生育不良や品質低下の主な原因の一つに土壌の塩類集積があると考え、土壌分析の実施を推進しています。今回は、定期的な分析を実施していない生産者を中心に巡回し、施肥管理と生育状況を確認しながら、土壌を採取しました。

サンプルを簡易（定性）分析したところ、生育不良が目立つほ場ほど、塩類が集積していることが確認されました。

今後、JAでの詳細分析結果を取りまとめ、それを部会員と共有し、小ねぎ生産の安定に向けた適切な土壌管理を支援していきます。

「夢みかん」現地研修会 ～マルチ被覆のタイミングは？～



室内研修の様子

8月14日にJA高知県香美地区果樹部露地みかん部会では、「夢みかん」の現地研修会を開催し、生産者7名が参加しました。

「夢みかん」はマルチ被覆栽培で一定の基準を満たした山北みかんの最高級ブランドで、今年度は7名の生産者が栽培に取り組んでいます。

生産者からは「降雨後にマルチを被覆したいが、雨が降らない」「肥大が良くないが、かん水はした方が良いか？」といった声が聞かれ、マルチ被覆栽培のポイントや過乾燥時のかん水の必要性を説明しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して、露地みかんの高品質安定生産に向けて支援します。